

### エネルギー消費の推移 (全国)

日本のエネルギー消費は年々増加しているが、特に目立つのは民生部門の伸び。運輸部門で多少の伸びは見られるが、ここ20年は比較的落ち着いている。産業部門では、省エネ化が年々進んでいるせいか、ここ40年では横ばいである。民生部門の伸びの要因は業務部門ではエアコンやパソコンの使用量の増加、家庭部門ではオール電化の普及などが考えられる。

### エネルギー消費の伸び率推移 (昭和48年→平成20年)

運輸部門  
**1.9倍**

民生部門(業務・家庭)  
**2.5倍**

産業部門  
**0.9倍**



出典:資源エネルギー庁「エネルギー白書 2010」

# エネルギーはつくれるんだ。

浜松市では、地球温暖化の進行を防ぐため環境負荷の少ない新エネルギーの普及に取り組むとともに各家庭での省エネルギー化を推進しています。

今年5月6日、菅直人首相が東海地震発生の可能性が高いことを理由に、浜岡原子力発電所内全ての原子炉を停止するよう中部電力(株)に要請した。この日は、昭和38年日本で原子力発電が始まって以来、初めて政府が原子力エネルギーにストップをかけた日となった。中部電力(株)が発表している発電設備別出力総量に占める原子力の割合は11%(表紙の数値)。全国の電力会社と比較した場合の原子力依存割合は最も低い値(原子力発電の設備がない沖縄電力(株)を除く)だが、この11%という数値を、私たちは今後どのように捉え、考えていったらよいだろう。

日常生活を振り返ると、私たちはテレビ、エアコン、パソコンはもとより、掃除、洗濯、料理などにも多くの電気を使用している。日本の電力消費が大きく伸びたのは、ここ20年。各家庭や事務所、商業施設などでの電力需要の増加が大きな要因となっている。私たちは毎日、当たり前のようになんげの恩恵を受けているのに、実際に自分が使う電気がどこでどのようにつくられ、どんな割合で消費されているのか、十分理解していない人が意外に多いのではないだろうか。11%(表紙の数値)。この数値とともに、改めて自分たちの使用するエネルギーについて考えてみよう。

### エネルギーの見直し

地域エネルギーについて考えたとき、浜松市には大きな自然の恩恵があることに注目したい。そのひとつが「太陽」。浜松市は全国的にみて日照時間が長いことが確認されている。

特に太陽エネルギーは、例えば太陽光パネルなど自家発電システムを設置することで、個人宅が発電所となりわが家のエネルギーの一翼を担うことができる。余った電力は電力会社に売ることができ、自然に節電意識が高まり、使わない電化製品のコンセントをこまめに抜くなどの省エネ行動につながっていくと言われる。世界でも太陽電池の年間生産量は平成16年ごろから急激に増加。環境への負担が少ない新エネルギーへの関心の高さがかげえられる。これほどクリーンで持続可能なエネルギー資源があることを、私たちはもっと認識すべきではないだろうか。

市では太陽光パネル設置者への補助だけでなく、木質ペレット、バイオマスへの取り組みを積極的に展開している。同時に私たちは豊かな自然環境を有する浜松市に暮らす者として、新たな地域のエネルギーにもっと関心を持ち、一緒に考えていかなければならない。

なぜなら自分たちが一番のエネルギー利用者なのだから…。

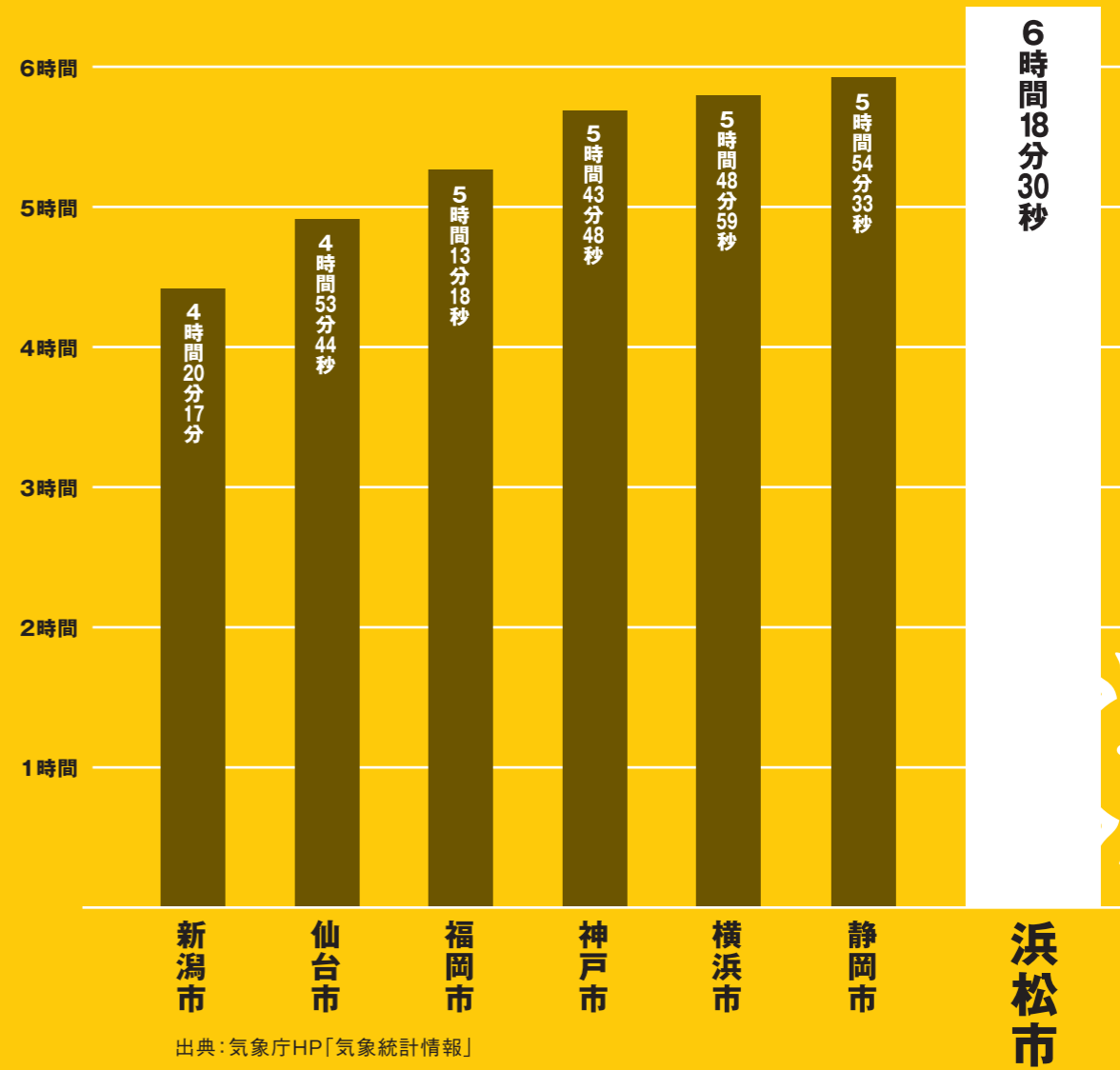
### 地域の恩恵を活かそう

# そうだ、ひらめいた!

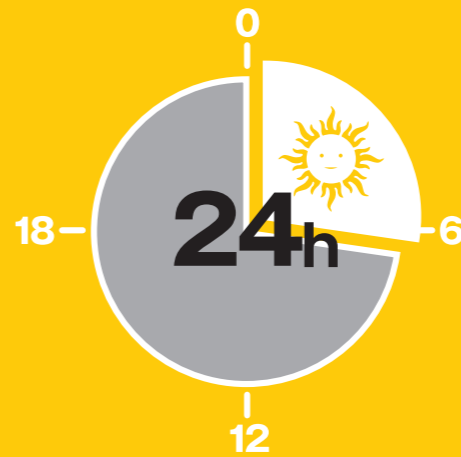
## 浜松市の日照時間は全国でもトップクラス。



### 平成22年 政令指定都市 1日の日照時間



出典:気象庁HP「気象統計情報」



### 浜松市の1日の平均日照時間

**6時間 18分 30秒**  
(全国平均 5時間23分35秒)

平成22年の日照時間(※)ランキングデータによると、浜松市は全国でもトップクラス。さんさんと降り注ぐ太陽は、浜松市の大きな資源といえる。この恩恵を私たちはどう活かしていけるだろうか。

※日照時間とは、直射日光が実際地上を照らす日射量が120W/m<sup>2</sup>以上の時間。